

Progress～進歩～

一期一会

25年 8 月号
 2013年8月1日発行
 三宅孝治(中国税理士会 倉敷支部会員)
 三宅孝治税理士事務所
 (有)シーエムエス
 倉敷市中島2370番地14
 TEL 086-466-1255
 FAX 086-466-1288
 第75号
 発行担当者：寺田 早織
 (広告)



8月に入り暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ついつい冷房の温度を下げすぎたり、冷たいものを飲みすぎたりして体調を崩されてはいませんか。とは言ってもせっかくの夏ですから、体調管理に気を付けながら、この季節をしっかりと楽しんで毎日を過ごしていきたいですね。

今月のテーマは・・・試算表

皆様も頻繁に目にしていると思いますが、どのような視点でご覧になってるでしょうか。試算表から何が見えるのか、いくつかの点を紹介していきたいと思います。

・・・その前にそもそも、試算表とは何か？

試算表とは毎日の記帳（伝票あるいは仕訳帳）から、総勘定元帳への転記が正確に行なわれているかを確認する為に作成されるものです。各勘定残高を一覧にし、借方（右）・貸方（左）の不一致がないか確認するために用いるため、経理処理の過程上必要不可欠な作業になるわけです。

また、毎月作成される月次試算表（当事務所では月次決算書と言います）は、速やかに会社の実態を数字で把握することのできる有効な資料なのです。会社の月々の健康状態を示す健康診断書のようなものとして活用していきましょう。

それでは本題です。月次決算書を有益な情報として活用するために、次のポイントに注目します。

ポイントとなる数値のチェック

試算表をチェックする際に、会社の情報として「必ず見るべき数値=チェックポイント」をあらかじめ決めておきましょう。ポイントとなる箇所に絞って見た方が状況をコンパクトに整理することができます。チェックポイントは業種・業態などによって異なりますが、一般的なものでは、貸借対照表項目、損益計算書項目それぞれ次のような点になります。

貸借対照表項目

一般的には、売掛金、買掛金、手形の各科目や現預金科目などが特にチェックすべき科目になります。これらは、資金繰りの観点から、あるいは債権・債務管理の観点から、常に注意したい数値です。また、借入金が多い会社の場合には借入金科目のチェックは欠かせません。従業員が多く、源泉所得税・社会保険などの預り金が多額になる会社であれば預り金もチェックポイントとして重要です。

基本的には、総資産に占める割合の高い科目（金額の大きい科目）についてはチェックポイントとして考えてみましょう。このような視点で見ることにより、たとえば、売掛金の残高だけでなく、月中にどれだけ発生したか（借方）、どれだけ回収したか（貸方）を把握することが可能になります。これが借入金の場合であれば、予定通り返済されているか（借方）、新規借入額は適正であるか（貸方）の判断に繋がることで、有益な情報として活用できるわけです。

損益計算書項目

損益計算書項目としては、まず売上総利益、営業利益、経常利益、税引前当期純利益、税引後当期純利益をチェックすることが重要です。利益が出ているか、また目標となる利益を上げているかという確認は必ず行なう必要があります。

次に、売上高は目標を達成しているか、仕入などの原価科目は売上高に対して適正かをチェックしましょう。また、経費のうち人件費の占める割合の多い会社であれば、給与・賃金科目を見るのが欠かせません。あるいは外注の多い会社であれば、外注費科目のチェックは当然欠かせなくなります。

基本的にこれらをチェックするポイントとしては、売上総利益、営業利益、経常利益、税引前当期純利益、税引後当期純利益の各利益額を構成する収益・費用について、各利益額に大きく影響を与えるものを中心に見ていきます。

貸借対照表でのチェックしたい項目

- 1) 現預金科目
- 2) 売掛金・買掛金科目
- 3) 受取手形・支払手形科目
- 4) 借入金科目（付随する支払利息）
- 5) その他金額の大きい科目

損益計算書のチェックしたい項目

- 1) 売上総利益、営業利益、経常利益、税引前当期純利益、税引後当期純利益
- 2) 売上高、仕入等の原価科目
- 3) その他金額の大きい科目

比率（構成比）のチェック

試算表には、金額以外の情報も含まれています。それが各科目の比率です。その中で、実務において比較的多く用いる比率は次のとおりとなります。

1) 自己資本比率...「自己資本（純資産）÷総資本×100（％）」
 総資本に占める純資産額の割合です。自己資本比率が高ければ、会社の内部留保が充実していることを示しています。試算表の純資産合計額の比率がそれにあたります。40％以上を目指しましょう。

2) 流動比率...「流動資産÷流動負債×100（％）」
 流動資産と流動負債の関係比率です。短期的な支払い（流動負債）を短期に現金化する資産（流動資産）でどれだけカバーできているかを見ることができます。200％以上が理想です。

3) 固定比率...「固定資産÷自己資本（純資産）×100（％）」
 固定資産はすぐに売却（現金化）しないものですので、返済の必要ない自己資本によってどれだけ調達しているか見ることができます。100％以下が目安です。

4) 売上総利益率...「売上総利益÷売上高×100（％）」
 売上総利益がどれだけあるのか端的に示す指標です。試算表の売上総利益の比率がそれを表しています。売上総利益とは、売上高から売上原価を差し引いたものですので、「100％-売上総利益率」は原価率となります。

5) 営業利益率...「営業利益÷売上高×100（％）」
 売上高から原価と販売費及び一般管理費を控除した利益（営業利益）の売上高に占める割合であり、営業活動によってどれだけ利益を上げているかを示しています。試算表の営業利益の比率です。

6) 経常利益率...「経常利益÷売上高×100（％）」
 会社の通常の経営活動による利益（経常利益）の売上高に占める割合を表しています。試算表の経常利益の比率です。

7) ROA...「当期純利益÷総資産×100（％）」
 会社のすべての資産からどれだけ利益を上げたかを示しています。比率が高ければ効率的に利益を計上していることになります。試算表から判明する当期純利益及び総資産の金額で確認しましょう。

8) ROE...「当期純利益÷自己資本（純資産）×100（％）」
 会社の自己資本からどれだけ利益を上げているか示します。自己資本が、会社の利益（収益）にどれだけつなげたのかを示します。

9) 労働分配率...「人件費÷限界利益×100（％）」
 限界利益をどれだけ人件費に回しているかを表しています。40％前後が一つの目安です。限界利益とは、（売上-変動費）で求められます。売上と共に変化する原材料費、外注費、運搬費を変動費と言います。

これらの比率を、毎月の月次決算書から確認していくことにより、会社の状況が速やかに把握できることとなります。会社の状況を把握することにより、たとえば、年間の計画を達成できるペースなのか、どの経費を削減すべきなのかなど、経営上の諸問題について、早めの対処が可能となるわけです。

このように月次決算書は、会社にとって魅力ある資料です。それを効果的に活用するため、どの数値が、またはどの比率が、その会社にとって有益であるのか選定しておくことをおすすめします。

また、数値、比率の目標値をあらかじめ設定し、その目標値を達成しているかどうか、常にチェックするようにしましょう。



～夏季休暇のお知らせ～

勝手ではございますが、**8月11日（日）～8月15日（木）**の間、休暇を頂きます。ご不便、ご迷惑等をお掛け致しますが、よろしく願い申し上げます。休暇の後には、より一層お客様のお役に立てますよう、努めさせていただきます。

8月のスケジュール

8	木	*経営計画書作成セミナー：Vision
12	月	*7月分源泉所得税・住民税の納付期限 *6月決算法人の確定申告・納付期限
31	土	*12月決算法人の中間申告・納付期限 *消費税（4期）の納付期限（年税額400万円超の3・9月決算法人） *個人事業税・納付期限 （口座振替にされている場合も同日になりますので、残高確認をお願いします。） *個人消費税・納付期限 （口座振替にされている場合は9月27日引き落としになります。）

31日が土曜日の為、申告納付期限は9月2日となります。

Visionのご案内

毎月開催中の**経営計画書作成セミナー：Vision**
 今月の開催日は**8月8日（木）**です。
 経営者の方が日頃考えていらっしゃる事を、年に一度、当事務所において頂き、経営方針書や行動計画表を作成して頂いています。
 まだ参加された事のない方、経営計画を作ってみませんか。

開催日	対象者	申込期限
8月8日（木）	6・7・8・9月決算法人様	8月2日（金）
9月12日（木）	7・8・9・10月決算法人様	9月6日（金）
10月10日（木）	8・9・10・11月決算法人様	10月4日（金）